

## 「目標」「計画」「行動」について

おはようございます。先週は新しい生徒会のもと、生徒集会が開かれました。選ばれた役員や委員長さんはリーダーシップを発揮し、清瀬中学校の生活会活動の活性化を目指して頑張ることに期待しています。3年生は、ぜひ新しい生徒会を応援してください。

さて来週より11月になります。23日には勤労感謝の日があります。この勤労感謝の日の制定は、昭和23年ー1948年、今から70年以上前になります。その趣旨は、「勤労をたっとび、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」ことだそうです。日本国民に「勤労の義務」があることは、皆さんもよく知っていることでしょう。

皆さんは、働くということ、ずいぶん先のことだと思いませんか。2年生は11月2日の職場体験に向けて9月より、重点的に働くことについて学習を進めてきていますが、自分が仕事に就くということは、まだ漠然としたイメージしかもっていない人が多いのではないのでしょうか。

しかし「目標のないところに計画なし」「計画のないところに行動なし」「行動のないところに成果なし」「成果のないところに進歩なし」と言われます。

目標がなければ、自分が行動する方向の見当がつかえません。実現不可能かな、と思うような大きな夢でもよいのです。自分は「どんな職業に就きたいのか」「どんな大人になりたいのか」など、おおまかでよいので、イメージして毎日を過ごしてみましよう。そのためには身近な方に話を聞いたり、本を読んだりして視野を広げることも必要です。目標ができたら達成させるために、どのようにするかを考えます。これが計画です。でも計画を立てることに時間を掛けすぎて、計画のための計画になって、三日坊主に終わってしまったことはありませんか。これを克服するためには「今の自分を知る」ということが大切です。自分は何が得意なのか、どんな特長をもっているのかなどを知ることは、乗り越えられそうな、今の自分にとって少し高い位置にある目標を掲げることにつながります。スポーツ選手を目指すのであれば、毎日トレーニングするのは当然でしょうし、大学進学して会社員になりたいならば、やはり教科の学習に時間を費やすことは欠かせないでしょう。そして無理のない計画を立て実行しましょう。実行できそうもないときは、どこに原因があるかを明らかにして改善したり、計画の見直しも必要です。「職業に就く」ということは、遠い世界のように思うかもしれませんが、実は今、話をしたように毎日の小さな一歩を積み重ねて、夢にたどり着いていくものです。ぜひ、継続して行動できる自分に強い心がもてるよう鍛えてください。

今日は2年生の職場体験と11月23日の勤労感謝の日を前に、「働く」＝「目標」「計画」「行動」について話をしました。